

2012年1月29日 ACAP西日本支部

消費生活センターひょうご・こうべ・はんしんネット(CC10)主催 親と子の金銭学習講座「親子で学ぼう！おこづかいゲーム」報告



馬場支部長によるACAP紹介



すごろくゲームで大いに賑わう会場



【実施日】2012年1月29日(日)

【場所】西宮市大学交流センター(西宮市北口町1番2号602 ACTA西宮東館6階)

【後援】日本ファイナンシャル・プランナーズ協会

【参加団体】消費生活センター ひょうご・こうべ・はんしん ネット(兵庫県生活科学総合センター、神戸市生活情報センター、尼崎市立消費生活センター、西宮市消費生活センター、芦屋市消費生活センター、伊丹市立消費生活センター、宝塚市消費生活センター、川西市消費生活センター、三田市消費生活相談センター、猪名川町消費生活相談コーナー)、兵庫県金融広報委員会、ACAP

【参加者】小学生(3~6年)と保護者50組(100名)

【開催内容】

昨年9月に発足した「消費生活センター ひょうご・こうべ・はんしん ネット」(略称 CC10(シーシーテン))が主催する第2回事業として、1月29日(日)に親と子の金銭学習講座が開催された。今回は、将来の消費者となる子供たちに、お金の価値や役割を理解し、物を大切に使うことを「すごろくゲーム」方式で楽しく学んでいただくことを目的とし、抽選で選ばれた小学校3~6年生の子供たちとその保護者50組が参加した。

内容としては、日本ファイナンシャル・プランナーズ協会の方と参加者が10組に分かれ、すごろくゲームの中で、限られたおこづかいをどう使うか考え、お金の大切さやお金と人とのかわりについて、楽しく学んでいくものであった。終始和やかな雰囲気、子供たちや保護者の方、その場にいた関係者も笑顔で楽しみながら、学習していただけた。

ACAPでは、西日本支部馬場支部長が挨拶し、ACAPの活動について紹介したほか、会場にACAPコーナーを設けて、会員企業の啓発資料を展示・配布し、消費者の方への認知向上に向けた活動を実施した。

ACAPとして、将来の消費者となる子供たちにも、賢い消費者になっていただく機会をすることで、未来に向けた活動にも積極的に貢献していきたい。

國納孝郎(西日本支部 啓発・交流部会運営幹事 兵庫地区担当ノトリドール)